既存タイル・石材・外壁洗浄剤

プロベスト ソフト

取扱説明書

KYOEI SINCE 1964

安全にお使い頂くため、この説明書は使用される前に必ずお読みください。
記載されている事項を理解されたうえで、適正な使用を行ってください。
この説明書はいつでも読めるよう大切に保管ください。

■ **プロベスト ソフト**は建物等の床面や壁面に使用されているミカゲ石、タイル等の洗浄用に開発された洗浄剤です。壁面に付着した水垢・汚れを効果的に除去します。

■ 洗浄の際の不具合を防止する為に、下記の事項を十分に検討した上で本洗浄作業を行ってください。

■ 洗浄テストで異常が確認された場合は使用を差し控えてください。

洗浄前確認事項

1 洗浄する素材の材質を確認します。

プロベスト ソフトはミカゲ石やタイル用の洗浄剤です。
金属や塗装面、木部等の洗浄には適しません。

2 汚れの程度を確認します。

・プロベスト ソフトは【中程度～軽度】の汚れに対応した洗浄剤です。
・カタログの素材別対応表を参考にして、汚れのレベルにあった製品を選定します。
・プロベストは、ソフト（本品）▶レギュラー▶ハード の順に反応が強くなります。
（過剰洗浄を防止するため薬品の弱いものから試してください。）

3 表面がクリア塗装、保護剤等で表面処理されていないか確認します。

・薬品の効果に影響が出ますので、別途剥離作業等の下処理洗いが必要となります。
・クリア塗装されている場合は、剥離作業を行わないと、薬品では殆ど汚れが落とせません。

4 油シミ、ペンキ等の除去できない汚れがないか確認します。

・プロベスト ソフトは油シミ、ペンキ、コーキング等は除去できません。
・除去できない汚れは事前に確認し、客先の承認を得ておく必要があります。

5 その他の不明事項

・本品取扱店および弊社にご相談ください。

ダメージテスト

ⓘ 薬品が素材（タイル・石材）に対し、ツヤ落ちや色抜けを起こさないかどうかを確認します。

刷毛に薬品の原液を付け、目立たない場所のタイル・石材に小さな範囲で塗布します。	▶ 塗布した薬剤が完全に乾くまで放置します。	▶ きれいなウエスで水拭きします。	▶ 乾燥後にツヤ落ちや色抜けが無いかを確認します。

何らかの影響がある場合は、洗剤や洗浄方法を変更します。
※必要に応じて、素材の種類別・箇所別に同様のテストを行います。

PB-S 2013.3.1

洗浄テスト

洗いムラを防止する為、均一に湿る程度の水養生をします。	薬品を浸した半絞り状態の濡れウエス、またはハケ等で薬品を塗布します。	乾燥しない程度に一定時間放置後、ブラシ等で薬品塗布面をブラッシングします。	清水で半絞りにした濡れウエスで薬品塗布面を拭き上げ、塗布薬品及び汚れを拭き取ります。

● 汚れ落ちが不十分な場合には、上記の手順で再度薬品の塗布洗浄を行ってください。
※仕上がり状態の確認は、必ず洗浄面が乾燥した後に行います。

本洗浄

・洗浄テスト作業の結果に基づき、本洗浄作業を実施します。
※塗布量および放置時間は、塗布面の素材、汚れ状態により異なります。
必ずテスト洗浄の際に確認してください。
・洗浄剤を塗布する前に、洗浄面と周辺部に十分に水をかけておきます。
（ガラス・サッシ・ステンレス・石材・植栽等）※本品はガラスを傷めませんが熱反ガラスは不可。
・周辺に薬品の影響を受けやすい部材が使われている場合は状況に応じて、
拭き取り工法を用いてください。
・一定時間の放置後は、洗浄面と周辺部の排液を水で洗い流します。
（長時間の放置および排液残留は様々なトラブルの原因になります）

■ 標準塗布量

石　材	**150～200** g/㎡
タイル	**100～150** g/㎡

注意： 本品は酸性の洗剤です。
酸に弱い素材はビニール等で養生を
行った上で作業をしてください。

プロベスト ソフト使用上の注意

＊ 本品の取扱いの際には、洗浄液が直接皮膚に触れないように、ゴム手袋、ゴム長靴、保護マスク、保護メガネ等の保護具を着用の上、作業してください。
＊ 換気の良いところで使用してください。本品を取扱い後は口をすすぎ、よく手を洗ってください。
＊ 吸入した場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させた後、医師の診察を受けてください。
＊ 皮膚に付着した場合には、流水等でよく洗い流してください。念のため医師の診察を受けてください。
＊ 目に入った場合には、清水でよく洗うと共に、念のため医師の診察を受けてください。
＊ 誤って飲み込んだ場合には、水または牛乳等を飲ませ希釈してください。無理に吐かせないで、速やかに医師の診察を受けてください。
＊ 気分の悪い時は、医師の診察を受けてください。
＊ 保管は直射日光を避け、密封保管してください。他の容器に移し替えないでください。
＊ ガラスを傷めることはほとんどありませんが、十分に注意してご使用ください。
＊ 金属や塗装面に薬品が付着しますと変色する場合がありますので養生シート等で十分養生を行った上、ご使用ください。
＊ 植栽物に薬品が付着しますと変色する場合がありますので、養生は十分に行ってください。
＊ 洗浄廃水は直接放流せず中和剤で中和後、国、都道府県、市町村の規則に従って放流してください。
＊ 本容器を廃棄する場合には、中身を完全に除去した後、容器内を十分水洗し、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄してください。
＊ 製品の危険性、有害性については製品安全データシート（ＭＳＤＳ）を参照してください。

株式会社 共 栄
東京都板橋区若木1－8－22

PB-S 2013.3.1